

平成28年度 地域生涯学習活動実践交流セミナー 事業報告

○ 事業の概要

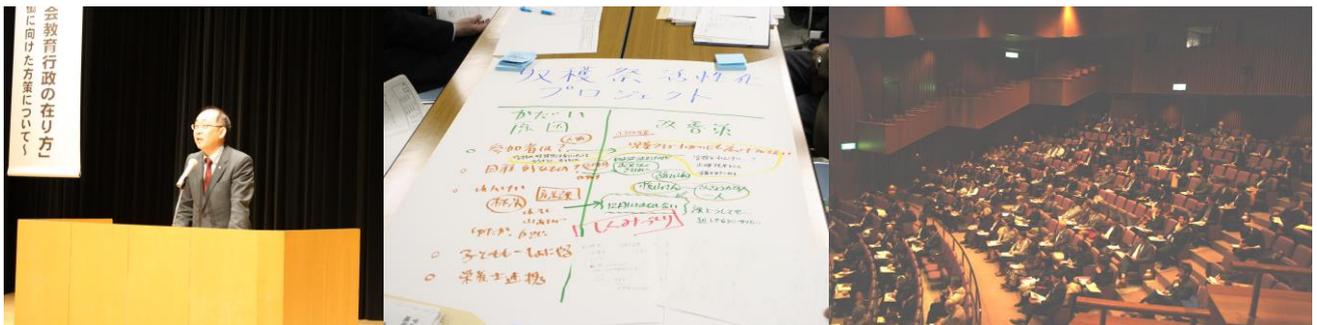
- 1 研究テーマ 「人口減少問題に対応した社会教育行政の在り方」
～ 行政間連携と地域住民との協働に向けた方策について ～
- 2 目的 本道における生涯学習活動の一層の推進を図るため、実践事例の交流等を通し、北海道における生涯学習活動推進上の課題解決を図る。
- 3 主催 北海道立生涯学習推進センター、北海道社会教育主事会協議会
- 4 期 日 平成29年2月16日（木）～ 17日（金）2日間
- 5 会 場 道民活動センタービル「かでの2・7」（かでのホール他）
- 6 対 象 市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員（社会教育委員、生涯学習審議会委員等）、生涯学習・関連施設職員、社会教育関係団体職員、民間団体（NPO、ボランティア、企業等）関係者 等
- 7 参加状況 参加者数 227名〔社会教育関係職員147名 社会教育関係職員以外80名（定員200名）〕

ブロック 管内	道 央			道 南				道 北			道 東			道外	
	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	林-ㇿ	十勝	釧路		根室
参加数	19	53	7	16	12	12	9	22	10	8	20	20	9	9	1
ブロック 人 数	79			49				40			58			1	
合計人数	227														

8 プログラム

9:30		10:00		10:15		10:45		11:30		12:00		13:00		14:30		17:00	
第1日目 2月16日 (木)	受付	開 会	説明・報告		講義		報告		昼 食 ・ 休 憩	事例発表		分科会				解 散	

9:30		11:00		11:30		12:40		15:00	
第2日目 2月17日 (金)	分科会		全体会		昼 食 ・ 休 憩	シンポジウム		閉 会	解 散



(1) 北海道立生涯学習推進センター調査研究報告

【報告者】北海道立生涯学習推進センター 吉光寺 勝己

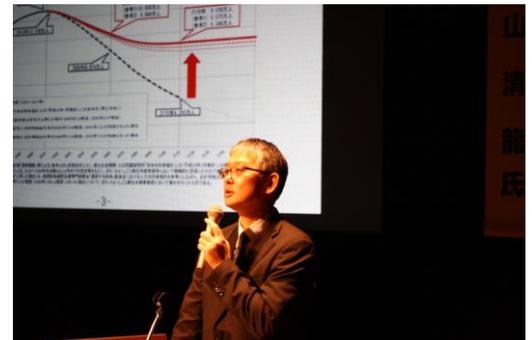
【内 容】生涯学習推進センターが行う調査研究の報告を行った。人口減少や少子高齢化の進行に伴うコミュニティ機能の低下などに対する道内の市町村の取組の実態を分析し、持続可能な社会の在り方について考察した内容を報告した。持続可能な社会づくりのための学びのプロセスや学びを促す要素などを提言した。



(2) 講義「人口減少を背景とした地方創生の時代における地域づくり」

【講 師】国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 専門調査員 尾山 清龍 氏

【内 容】人口の動向や戦後の地域づくりと社会教育の関わりや、地方創生について、国の現状や課題を踏まえお話しいただいた。近年、注目されている「小さな拠点」や「地域運営組織」と生涯学習の関わりに触れ、先進事例として島根県浜田市で行われている公民館の取組を御紹介いただいた。



(3) 報告

【報告者】道央ブロック〈後志管内社会教育主事会〉 干場 雅矢 氏 (仁木町教委)
道南ブロック〈渡島管内社会教育主事会〉 阿部島 文 氏 (知内町教委)
道東ブロック〈根室管内社会教育主事会〉 和田 康弘 氏 (中標津町教委)
道北ブロック〈宗谷管内社会教育主事会〉 柴田 圭 氏 (礼文町教委)

【内 容】4名の報告者から、各ブロックにおけるこれまで2年間の取組の成果と今後の展望を報告いただいた。



(4) 事例研究

【講 師】NPO法人グラウンドワーク西神楽理事 谷川 良一 氏
NPO法人炭鉱の記憶推進事業団理事長 吉岡 宏高 氏

【内 容】地域づくりの担い手として御活躍されている両者から、それぞれの取組について、まちの現状や課題、活動のきっかけや経緯を踏まえて御紹介いただいた。

谷川氏からは、高齢者が活躍するコミュニティビジネスの事例、吉岡氏からは、地域の歴史を資源として活用している事例についてお話しいただいた。



(5) 分科会

【事例発表】

分科会	事例テーマ	管内	市町村	発表者(敬称略)
第1	「子どもたちが地域をもっと好きになるために」 ～様々な機関と連携した青少年宿泊体験事業 「うらかわサマーキャンプ2016について」～	日高	浦河町	橋本 恭宏
	「地域での学びをどのように作っていくか」 ～釧路町子ども会にみる既存団体の変革～	釧路	釧路町	江端 邦仁
第2	「佐呂間町子育て講座について」 ～地域との協働による家庭教育支援の取組～	オホーツク	佐呂間町	杉山 沙織
	「学校・家庭・地域との協働」 ～子ども朝活の実践から～	石狩	北広島市	古内 誠也
第3	地域を再発見！ ～宗谷管内ジュニアリーダー養成の取組～	宗谷	稚内市	大沼 拓哉
	住民との協働による図書館運営と図書館員・ボラン ティア情報交流会について ～二セコ町あそびっくの運営と行政間連携・人材 育成の取り組み～	後志	二セコ町	樋口 範幸
第4	地域住民の参画による地域未来塾の取組	胆振	洞爺湖町	野呂 圭一
	地域住民の連携による青少年育成事業 ～「進メエ～！羊のまちの探検隊」の取り組み～	上川	士別町	工藤 雅史

【内 容】希望した分科会に分かれ、地域住民との協働（互助、共助）や他部局との連携を視点に、地域づくりに取り組んでいる各管内の事例を発表いただいた。



【協 議】

分科会	テーマ	会 場	進行(敬称略)	記録(敬称略)
第1	「地域を好きになる学び」を考える ～地域の担い手の「入り口」として～	710 会議室	小林 笑 檜山管内せたな町	川口 絢未 渡島管内八雲町
第2	「行動を促す学び」を考える① ～住民が当事者意識を持つために～	1060 会議室	大鳥居 仁 十勝管内陸別町	上杉 大洋 根室管内別海町
第3	「行動を促す学び」を考える② ～住民が当事者意識をもつために～	730 研修室	小原 和之 後志管内古平町	富田 匠 空知管内沼田町
第4	「地域を創る学び」を考える ～活動の持続・発展に向けて～	820 研修室	渡辺 将平 留萌管内羽幌町	今井 真司 上川管内下川町
第5	「これからの図書館の在り方」を考 える	1030 会議室	吉原 和夏子 生涯学習課	—
第6	「これからの青少年教育施設の在 り方」を考える	1070 会議室	薄葉 康 生涯学習課	—
第7	「開講 15 周年を迎えた今後の道民 カレッジ」を考える	1040 会議室	久保 大輔 生涯学習課	—

【内 容】人口減少に対応する地域づくりの担い手を育成
する上で、「地域を好きになる学び」「行動を促す
学び」「地域を創る学び」を提供するため、行政
間連携と地域住民との協働をどう進めるか、7つ
の分科会に分かれて協議を行った。



(6) 全体会

【助言者】IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]CEO 川北 秀人 氏

【進 行】北海道立生涯学習推進センター 阿部 隆之

【内 容】各分科会での研究協議の内容を参加者で共有し、
今後の取組や方向性について考えを深めた。

各分科会のまとめのキーワードとして、「青年層
の協働」「キーパーソンをつなげる」「ヨソ者」「社
会教育は教育」「信頼関係」などが出された。



(7) シンポジウム／対談「人口減少問題に対応した社会教育行政の在り方」

【登壇者】IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]CEO 川北 秀人 氏

夕張市教育委員会社会教育主事 木村 愛 氏

【内 容】全国でNPOや市民団体、行政のマネジメント
に造詣の深い川北氏と、市の財政破綻を契機に
急激な人口減少を経験した夕張市で社会教育行
政を担当している木村氏との対談を通して、今
後の社会教育行政が抱える課題や可能性などを
共有した。



(8) シンポジウム／特別講演「人口減少問題に対応した社会教育行政の在り方」

【講 師】IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]CEO 川北 秀人 氏

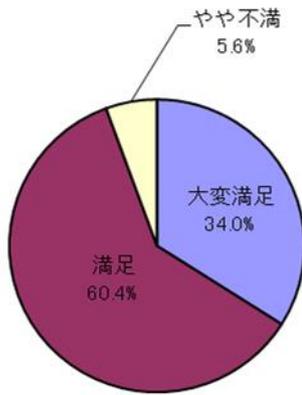
【内 容】地域を元気にするために社会教育に求められる
役割について、人口構成の推移や財政状況などを
踏まえ、地域の現状や課題を的確に捉えることの
大切さや地域づくりを担う住民へのアプローチ
など、豊富な実践経験を元にわかりやすくお話を
いただいた。



○ 事業の満足度

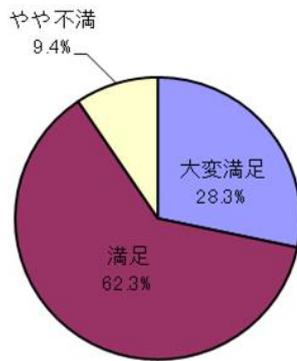
1 講座全体への満足度

回答者数 111 名 (回収率 48.9%)



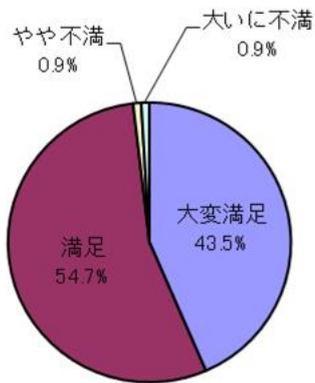
満足度	満足度			
	大変満足・満足 94.4%			
	大変満足	満足	やや不満	大いに不満
	34.0%	60.4%	5.6%	0.0%

2 (1) 講義



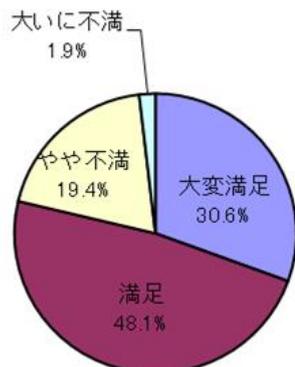
満足度	満足度			
	大変満足・満足 90.6%			
	大変満足	満足	やや不満	大いに不満
	28.3%	62.3%	9.4%	0.0%

(2) 事例研究



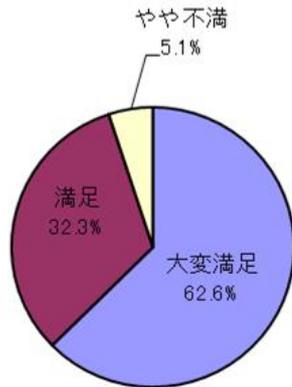
満足度	満足度			
	大変満足・満足 98.2%			
	大変満足	満足	やや不満	大いに不満
	43.5%	54.7%	0.9%	0.9%

(3) 分科会



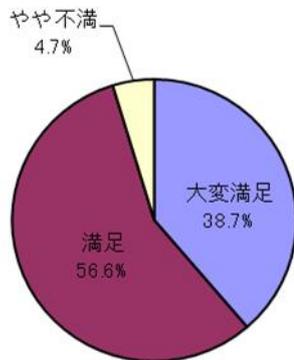
満足度	満足度			
	大変満足・満足 78.7%			
	大変満足	満足	やや不満	大いに不満
	30.6%	48.1%	19.4%	1.9%

(4) シンポジウム／対談・特別講演



満足度	満足度			
	大変満足・満足 94.9%			
	大変満足	満足	やや不満	大いに不満
	62.6%	32.3%	5.1%	0.0%

3 講座の運営



満足度	満足度			
	大変満足・満足 95.3%			
	大変満足	満足	やや不満	大いに不満
	38.7%	56.6%	4.7%	0.0%

【参加者の主な声】

<セミナー全体を通して>

- 日々の業務の意識改革、モチベーションがUPした。
- カリキュラムがよくできている。自分たちも参画できるしくみに感心した。
- 道民カレッジ生向けの分科会を設定してもらい感謝している。
- 分科会が時間に追われてしまうので、もっとゆっくり話せる時間がとれれば良かった。
- 講演の一人あたりの時間が短すぎたのではないか。

<講義>

- 地域運営組織等の地域力によるまちづくりについての内容が良かった。
- 要点を絞って全体を話してもらい、わかりやすかった。社会的背景と施策のつながりの理解が進んだ。
- 今後も国の動向や施策の要点を聞ける機会をつくってほしい。
- 安城公民館の防災の事例が興味深かった。
- 省略することが多くて、全体の理解が困難だった。

<事例研究>

- 単なる成功事例にとどまらず、成功に結びついたキーワードやポイントをつかむことができた。
- 炭鉱の町の人口減少、崩壊に立ち向かう姿に勇気づけられた。
- NPOのノウハウの中には、我々の業務にも通じるキーワードが多くあり、とても参考・刺激になった。
- 生涯学習の多様性について再発見できた。
- 大変良かったが、少し時間が少なかった。

<分科会>

- 具体的な内容や各地域の悩みも理解でき、対策・方策が考えられた。
- 佐呂間の食育・北広島の地域全体の活動が良かった。親子のつながりに共感した。
- 施設の業務の中にも研修テーマに沿ったことが多くあることを再認識する機会になった。
- 自分とは異なる立場の方と交流することができた。
- 最終的にどう持っていきたいのか、少しわかりづらい部分があった。
- 時間が少ない中でたくさん話をしなくてはならなく、時間がなかった。もう少し絞り込むことができれば良かった。

<シンポジウム>

- ざっくばらんなトーク、講師・対談者の話が良かった。もう少し聞きたかった。
- 社会教育の原点を豊富な事例をもとに再認識できた。
- 川北さんの考え方にうなづく場面が多々あり、大変刺激をもらった。
- 社会教育が新たな段階に入っていることを知り、これまでとは違う手法を進めていかなければならないことがわかり、責任の重さを知った。
- これからの厳しい現状がわかった。今やっている取組みを見直し、人材育成を意識した事業展開をしていきたい。
- ポイントやテーマをもっと絞ってほしかった。

<セミナーの運営>

- 教育担当者のみならず一般市民（道民カレッジ）が参加できたのが良かった。
- 全道の社会教育主事が一同に介しての発表討論会。継続してほしい。
- 全体の運営が期待どおりの流れで終始一貫していた。
- 社会教育委員や市民も多く参加できるようにPRをしてもらいたい。
- 分科会の時間に余裕が欲しかった。（あわただしい話し合いとなった。）

<その他>

- ルーチンワークに忙殺されないで、地域のためのコーディネートを少しでもできればと思う。
- 2日目になると参加者が激減するのが残念。